

令和6年度 事業報告・決算（概要版）

1. 法人全体

事業報告（法人本部）	P 1
財産目録	P 2
法人単位資金収支計算書	P 3
法人単位事業活動計算書	P 4
法人単位貸借対照表	P 5

2. 拠点区分（事業報告、事業活動計算書）

1) おおすか苑	P 6～P 16
2) 山崎デイサービス	P 17～P 18
3) 地域密着サービス	P 19～P 22
4) よこすかぬく森こども園	P 23～P 24
5) おおぶちそよ風こども園	P 25～P 26

3. 資金収支内訳表

（サービス区分）	P 27
----------	------

法人本部

1. 理事会・評議員会などの開催について

- ・定時評議員会（令和6年6月18日開催 評議員6名・理事1名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 計算書類及び財産目録の承認について
 - （2）理事の選任について
- ・臨時評議員会 報告のみ（令和6年12月17日開催 評議員6名・理事2名出席）
 - ①令和6年度上半期 事業報告・仮決算 ②特養おおすか苑 不適切な介護事案について
- ・第1回理事会（令和6年4月23日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 私営幼保連携型認定こども園 指導監査結果に係る是正・改善計画について
- ・第2回理事会（令和6年5月28日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 事業報告の審議承認について （4）理事候補者の推薦について
 - （2）令和5年度 計算書類等の審議承認について （5）評議員選任・解任委員の選任について
 - （3）定時評議員会の招集について
- ・第3回理事会（令和6年7月23日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和6年度 一般会計第1次補正予算（案）審議承認について
 - （2）資金運用計画の一部変更について
 - （3）諸規程の一部改正について ①就業規則の一部改正について ②給与規程の一部改正について
- ・臨時理事会（令和6年8月22日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）特養おおすか苑における、不適切な介護事案 当該職員に対する処分について
- ・第4回理事会（令和6年10月1日開催 理事6名・監事1名出席）
 - （1）令和6年度 一般会計第2次補正予算（案）審議承認について
 - （2）職員給与規程（高齢者福祉事業部）の一部改正について
 - （3）課長補佐の選任について
- ・第5回理事会（令和6年12月3日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和6年度 一般会計第3次補正予算（案）審議承認について
 - （2）臨時評議員会の招集について
- ・第6回理事会（令和7年1月28日開催 理事5名・監事2名出席）
 - （1）令和6年度 一般会計第4次補正予算（案）審議承認について
 - （2）幼保連携型認定こども園園則（運営規程）の一部改正について
 - （3）山崎デイサービスセンターの休止について
- ・第7回理事会（令和7年3月11日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和6年度 一般会計第5次補正予算（案）審議承認について
 - （2）令和7年度 経営方針並びに各事業計画（案）審議承認について
 - （3）令和7年度 一般会計予算（案）審議承認について
 - （4）令和7年度 資金運用計画の承認について
 - （5）諸規程の一部改正について ①就業規則の一部改正について ②給与規程の一部改正について
 - （6）大須賀苑デイサービスセンター指定通所介護事業所他運営規程の一部改正について

2. 監査等の実施

- ・令和6年5月15日 法人監事による令和5年度事業報告及び決算監査を施行
- ・令和6年7月1日 消防立ち入り検査（おおすか苑）
- ・令和6年9月9日 掛川市による実地指導（山崎デイサービス）※結果未着の為次年度報告とする
- ・令和6年9月20日 掛川市による実地指導（特養おおすか苑）（おおすか苑ショートステイ）（ほほえみデイ）
- ・令和6年11月13日 法人監事による令和6年度上半期事業報告及び仮決算監査を施行
- ・令和6年12月17日 掛川市による特定教育・保育施設等指導監査（よこすかぬく森こども園）

3. 登記関係

- ・資産の変更登記 令和6年6月19日登記（32億3953万2094円）

財 産 目 録
令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	静岡銀行大須賀支店他		運転資金として			202,613,008
事業未収金	静岡県国保連他		2. 3月介護報酬等			116,585,507
未収金			職員給食費 3月分			231,900
未収補助金	掛川市他		利用者負担軽減事業費補助金 他			26,583,411
立替金			貸借入所者3月分医療代 他			177,495
前払金			OK!ワーク会費4.5.6月分 他			344,660
流動資産合計				0	0	346,535,981
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(おおさか苑拠点)		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			41,059,799
	掛川市大淵4353他		第2種社会福祉事業である、おおさか苑風こども園施設等に使用している			63,631,612
建物	(おおさか 風こども園拠点)		第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセンター等に使用している			38,153,845
	掛川市大淵4386-1他		第2種社会福祉事業である、グループホーム野菜里施設等に使用している			74,397,600
建物	(山崎デイサービス拠点)		第2種社会福祉事業である、よこすかぬく森こども園施設等に使用している			344,154,422
	掛川市山崎60-51他		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			142,490,583
建物	(地域密着型サービス拠点)		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			83,981,070
	掛川市大淵12680-1他		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			141,628,226
建物	(よこすか ぬく森こども園拠点)		(二ツ型) 空調を入替使用している (R4)			33,883,209
	掛川市大淵4895他		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			35,808,491
建物	(おおさか苑拠点)		(唐名事務所) 空調を入替使用している (R3)			2,035,660
	掛川市大淵4895他		第1種社会福祉事業である、おおさか苑施設等に使用している			10
建物	(おおさか苑拠点)		第2種社会福祉事業である、おおさか苑風こども園施設等に使用している			183,417,946
	掛川市大淵4895他		空調を入替使用している (R2,3)			17,488,899
建物	(おおさか 風こども園拠点)		第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセンター等に使用している			4,800,384
	掛川市大淵4386-1他		空調を入替使用している (R3,4)			1,660,555
建物	(山崎デイサービス拠点)		第2種社会福祉事業である、グループホーム野菜里施設等に使用している			213,450,572
	掛川市山崎60-51他		第2種社会福祉事業である、よこすかぬく森こども園施設等に使用している			669,970,540
建物	(地域密着型サービス拠点)					1,000,000
	掛川市大淵12680-1他					
建物	(よこすか ぬく森こども園拠点)					
	掛川市大淵4895他					
基本財産合計				3,268,484,242	1,737,868,097	2,093,013,423
(2) その他の固定資産						
土地	(おおさか苑拠点) 掛川市大淵4348他		第1種社会福祉事業である、おおさか苑職員駐	38,950,000		38,950,000
	(山崎デイサービス拠点)		車場に使用している			
建物	掛川市山崎60-85他		山崎デイサービスセンターの駐車場及び拡張のために確保している	13,430,000		13,430,000
	(おおさか 風こども園拠点)		おおさか 風こども園駐車場に使用している	11,236,000		11,236,000
建物	掛川市大淵4395-1		第1種社会福祉事業である、おおさか苑倉庫に使用している	302,500	219,889	82,611
	(おおさか苑拠点)		令和3年度外壁改修工事	231,000	137,637	93,363
建物	掛川市大淵4895		第2種社会福祉事業である、よこすか ぬく森こども園の乳児プール倉庫に使用している	28,160,000	3,646,720	24,513,280
	(おおさか 風こども園拠点)		第2種社会福祉事業である、おおさか 風こども園倉庫に使用している	192,698	112,516	80,182
建物	(よこすか ぬく森こども園拠点)		おおさか 風こども園屋上防水工事	485,100	485,099	1
	掛川市大淵1039-1他		各施設外構工事、保育園遊具等	230,725	107,227	123,498
建物	(おおさか 風こども園拠点)		おおさか 風こども園屋上防水工事	6,442,051	913,696	5,528,355
	掛川市大淵4386-1他		利用者送迎等	426,255,825	250,317,416	175,938,409
建物	各拠点		介護ベッド等	24,563,945	23,728,899	835,046
	おおさか苑、地域密着型サービス拠点		介護保険ソフト、パソコン20台、LED	216,351,273	188,934,925	27,416,348
建物	おおさか苑拠点		電話加入権	49,557,360	43,856,500	5,700,860
	おおさか苑、地域密着型サービス拠点		会計管理ソフト等	9,007,555	8,191,079	816,476
建物	静岡県退職共済会		退職金支払いのための積立金			17,074,250
	定期預金 静岡銀行大須賀支店他		将来の人員費の目的のために積み立てている定期預金、国債			288,263,000
建物	国債 モルガン・スタンレー証券		将来の施設整備の目的のために積み立てている定期預金、国債			287,082,000
	定期預金 静岡銀行大須賀支店他		将来の修繕の目的のために積み立てている定期預金			121,772,000
建物	国債 SMBC日興証券		出資金			3,965,216
	定期預金 島田掛川信用金庫大須賀支店他					100,000
建物	火災保険料 日本興亜損保 他					
	島田掛川信用金庫他					
その他の固定資産合計				825,396,032	520,651,603	1,023,072,895
固定資産合計				4,093,880,274	2,258,519,700	3,116,086,318
資産合計				4,093,880,274	2,258,519,700	3,462,622,299
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	職員派遣他					27,805,225
1年以内返済予定設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					20,333,000
1年以内返済予定リース債務	NECビル・外資・リ・ョウ他					3,182,304
未払費用	3月分職員給料未払分					22,187,614
職員預り金	3月分源泉所得税他					5,885,423
賞与引当金	6月賞与R6年度対応分					33,612,503
流動負債合計				0	0	113,006,069
2 固定負債						
設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					173,001,000
リース債務	NECビル・外資・リ・ョウ他					2,518,556
退職給付引当金	静岡県退職共済会分引当					17,074,250
固定負債合計				0	0	192,593,806
負債合計				0	0	305,599,875
差引純資産				4,093,880,274	2,258,519,700	3,167,022,424

法人単位資金収支計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収 入			
	0165 介護保険事業収入	658,075,000	651,332,667	6,742,333
	0181 保育事業収入	305,686,000	313,751,914	-8,065,914
	0198 借入金利息補助金収入	620,000	620,000	0
	0199 経常経費寄附金収入	121,000	152,500	-31,500
	0200 受取利息配当金収入	696,000	1,045,716	-349,716
	0201 その他の収入	4,209,000	4,122,380	86,620
	事業活動収入計(1)	969,407,000	971,025,177	-1,618,177
	支 出			
	0129 人件費支出	681,745,000	656,240,279	25,504,721
	0130 事業費支出	137,966,000	120,544,889	17,421,111
	0131 事務費支出	158,643,000	144,755,044	13,887,956
	0136 利用者負担軽減額	2,215,000	1,710,811	504,189
	0137 支払利息支出	2,053,000	1,951,490	101,510
	0138 その他の支出	3,555,000	2,823,800	731,200
	事業活動支出計(2)	986,177,000	928,026,313	58,150,687
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-16,770,000	42,998,864	-59,768,864
施設整備等による収支	収 入			
	0204 施設整備等補助金収入	31,000,000	31,000,000	0
	施設整備等収入計(4)	31,000,000	31,000,000	0
	支 出			
	0143 設備資金借入金元金償還支出	51,400,000	51,333,000	67,000
	0144 固定資産取得支出	7,399,000	2,832,890	4,566,110
	0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	6,043,000	5,895,060	147,940
	施設整備等支出計(5)	64,842,000	60,060,950	4,781,050
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-33,842,000	-29,060,950	-4,781,050
その他の活動による収支	収 入			
	0214 積立資産取崩収入	290,000	364,000	-74,000
	その他の活動による収入計(7)	290,000	364,000	-74,000
	支 出			
	0152 積立資産支出	2,019,000	1,725,000	294,000
	その他の活動支出計(8)	2,019,000	1,725,000	294,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,729,000	-1,361,000	-368,000
予備費支出(10)		0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-52,341,000	12,576,914	-64,917,914
前期末支払資金残高(12)		278,080,805	278,080,805	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		225,739,805	290,657,719	-64,917,914

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益	0056 介護保険事業収益	651,332,667	652,882,269	-1,549,602
		0072 保育事業収益	313,751,914	296,131,608	17,620,306
		0089 経常経費寄附金収益	152,500	0	152,500
		サービス活動収益計(1)	965,237,081	949,013,877	16,223,204
	費 用	0015 人件費	657,506,876	635,721,436	21,785,440
		0016 事業費	120,544,889	121,735,553	-1,190,664
		0017 事務費	147,554,020	141,061,644	6,492,376
		0026 利用者負担軽減額	1,710,811	2,044,480	-333,669
		0027 減価償却費	141,170,671	145,782,957	-4,612,286
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-93,771,341	-95,313,235	1,541,894
サービス活動費用計(2)		974,715,926	951,032,835	23,683,091	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-9,478,845	-2,018,958	-7,459,887	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収 益	0092 借入金利息補助金収益	620,000	1,458,347	-838,347
		0093 受取利息配当金収益	1,045,716	981,516	64,200
		0098 その他のサービス活動外収益	4,122,380	4,533,115	-410,735
		サービス活動外収益計(4)	5,788,096	6,972,978	-1,184,882
	費 用	0033 支払利息	1,951,490	2,285,826	-334,336
		0275 積立資産評価損	11,505,000	8,428,500	3,076,500
		0038 その他のサービス活動外費用	3,479,800	3,036,700	443,100
	サービス活動外費用計(5)		16,936,290	13,751,026	3,185,264
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		-11,148,194	-6,778,048	-4,370,146
	経常増減差額(7)=(3)+(6)		-20,627,039	-8,797,006	-11,830,033
特 別 増 減 の 部	収 益	0100 施設整備等補助金収益	31,000,000	45,330,000	-14,330,000
		0111 その他の特別収益	989,404	264,800	724,604
		特別収益計(8)	31,989,404	45,594,800	-13,605,396
	費 用	0042 固定資産売却損・処分損	100,694	57,401	43,293
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	28,890,252	42,398,301	-13,508,049
		特別費用計(9)	28,990,946	42,455,702	-13,464,756
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		2,998,458	3,139,098	-140,640
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-17,628,581	-5,657,908	-11,970,673	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)		707,231,918	734,461,326	-27,229,408
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		689,603,337	728,803,418	-39,200,081
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		11,505,000	8,428,500	3,076,500
	その他の積立金積立額(16)		0	30,000,000	30,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		701,108,337	707,231,918	-6,123,581

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係)

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	346,535,981	342,152,868	4,383,113
1111 現金	202,613,008	208,271,566	-5,658,558
1131 事業未収金	116,585,507	113,038,856	3,546,651
1132 未収金	231,900	231,300	600
1133 未収補助金	26,583,411	20,130,694	6,452,717
1161 立替金	177,495	103,740	73,755
1162 前払金	344,660	366,712	-22,052
1181 仮払金	0	10,000	-10,000
0002 固定資産	3,116,086,318	3,267,821,569	-151,735,251
0003 基本財産	2,093,013,423	2,191,186,209	-98,172,786
1211 土地	561,397,278	561,397,278	0
1212 建物	1,530,616,145	1,628,788,931	-98,172,786
1221 定期預金	1,000,000	1,000,000	0
0004 その他の固定資産	1,023,072,895	1,076,635,360	-53,562,465
1311 土地	63,616,000	63,616,000	0
1312 建物	30,421,290	32,037,182	-1,615,892
1313 構築物	175,938,409	193,473,734	-17,535,325
1315 車輦運搬具	835,046	3,888,611	-3,053,565
1316 器具及び備品	27,416,348	38,790,530	-11,374,182
1319 有形リース資産	5,700,860	11,595,920	-5,895,060
1321 権利	72,000	72,000	0
1322 ソフトウェア	816,476	1,608,141	-791,665
1329 退職給付引当資産	17,074,250	16,067,050	1,007,200
1332 人件費積立資産	288,263,000	293,184,000	-4,921,000
1219 施設整備等積立資産	287,082,000	293,438,000	-6,356,000
1220 保育所施設・設備整備積立資産	121,772,000	122,000,000	-228,000
1334 長期前払費用	3,965,216	6,764,192	-2,798,976
1341 その他の固定資産	100,000	100,000	0
資産の部合計	3,462,622,299	3,609,974,437	-147,352,138
負債及び純資産の部合計		3,157,022,424	3,239,532,094
		3,462,622,299	3,609,974,437
			-147,352,138

令和6年度 事業報告（概要版）

特別養護老人ホームおおすか苑（従来型）

おおすか苑 ショートステイ

1. 特養入居者状況

令和6年度延べ17,587名、上半期が9,069名であり下半期は8,518名であった。昨年度の17,958名に比べると371名の減少となっている。稼働率96.4%昨年度は98.4%であった。平均利用者数48.2人、平均介護度3.9、新規入所者19名（在宅から7名、医療機関6名、老健4名、社会福祉施設（ユニットから）2名）、退所者21名（17名は老衰、1名大動脈破裂、1名介護医療院へ入院、肺炎1名、（ユニットへ）異動1名）であった。

2. ショート利用状況

令和6年度延べ2,128人、昨年度3,810人に比べると1,682名の減である。利用者減の原因としては、8月以降において職員の退職、介護経験不足職員の配置等から職員体制が整わない状況であったことから、新規利用者の受け入れを制限していた時期があった。その後、利用者の受け入れ状況が回復しないなかで、年明けから年度末にかけて特養施設内で感染症が発生してしまい、併設型ショートステイとしては大きく影響を受けた。

3. 事業所の目標「その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する」

家族へは面会時に様子を伝え、できることや習慣はケアプランに反映させるようにし生活の継続につなげた。接遇に関して完全な敬語には至っていないが、丁寧な声掛けに心がけた。環境面で障害物の除去や危険と思われるものには意識してきたが、食べこぼしが床に残っているなど掃除は不十分だった。ヒヤリ・ハット報告提出については以前より意識を高く持つことが出来るようになった。

4. 活動・行事

今年度は、家族を交えての外出、選挙、遠足などの外出行事が実施出来た。敬老会もこども園の園児を招いて会を催し、芸能ボランティアも呼ぶことが出来、見て楽しむことが出来た。外食できない方にはテイクアウトにて苑内でカフェの雰囲気を作り食べていただいた。面会もブースを設けての対応ではあるが、滞りなく実施出来ている。

5. 利用者の健康管理

認知症、精神疾患への対応強化のために小笠病院との連携体制をとった。精神科への入院が長期になった方がいた。体調不良で入院となり、退院される時には看取り状態というケースもあった。インフルエンザ、ノロウイルス感染症の発生があったがクラスターという状況にはならなかった。

6. 防災活動

夜間想定を中心に実施、11月には地域の方にも防災訓練に参加していただいた。

7. 職員研修計画

内部研修15回、延べ職員285名参加、外部研修32回の研修にのべ41名参加した。

8. 会議・委員会

施設福祉課会議は実施出来た。委員会により開催などにばらつきがあった。

9. 優先入所検討会

2か月に1回開催をすることが出来たが、入退所の動きが大きい月もあり、途中で臨時での優先入所検討会をする状況もあった。

10. 地域との交流

こでまりの会、シニアクラブ3地区の草刈り、芸能ボランティア来所。イベント時「こでまりの会」「いつもんとこサポーター」の方各2名の協力、家族だけではなく地域の方の面会もあった。

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
 事業所名 * * 令和 6 年 度 * *
 サービス区分 [0002:特養 おおすか苑 (従来型)]

事業活動計算書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益	0056 介護保険事業収益	215,508,548	214,880,985	627,563
		0089 経常経費寄附金収益	32,500	0	32,500
		サービス活動収益計(1)	215,541,048	214,880,985	660,063
	費 用	0015 人件費	125,028,118	128,862,496	-3,834,378
		0016 事業費	34,657,066	35,302,375	-645,309
		0017 事務費	38,586,037	35,234,243	3,351,794
		0026 利用者負担軽減額	972,505	883,554	88,951
		0027 減価償却費	21,312,668	23,473,016	-2,160,348
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-9,977,925	-9,977,925	0
		サービス活動費用計(2)	210,578,469	213,777,759	-3,199,290
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		4,962,579	1,103,226	3,859,353	
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収 益	0093 受取利息配当金収益	309,816	266,824	42,992
		0098 その他のサービス活動外収益	631,741	204,388	427,353
		サービス活動外収益計(4)	941,557	471,212	470,345
	費 用	0275 積立資産評価損	4,921,000	3,661,500	1,259,500
		0038 その他のサービス活動外費用	45,800	16,000	29,800
		サービス活動外費用計(5)	4,966,800	3,677,500	1,289,300
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		-4,025,243	-3,206,288	-818,955
経常増減差額(7)=(3)+(6)		937,336	-2,103,062	3,040,398	
特 別 増 減 の 部	収 益	0111 その他の特別収益	45,800	16,000	29,800
		特別収益計(8)	45,800	16,000	29,800
	費 用	0042 固定資産売却損・処分損	77,269	0	77,269
		0047 拠点区分間繰入金費用	0	7,000,000	-7,000,000
		特別費用計(9)	77,269	7,000,000	-6,922,731
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		-31,469	-6,984,000	6,952,531
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		905,867	-9,087,062	9,992,929	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)		213,969,710	239,395,272	-25,425,562
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		214,875,577	230,308,210	-15,432,633
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		4,921,000	3,661,500	1,259,500
	その他の積立金積立額(16)		0	20,000,000	-20,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		219,796,577	213,969,710	5,826,867

事業活動計算書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	30,961,047	43,296,323	-12,335,276
		サービス活動収益計(1)	30,961,047	43,296,323	-12,335,276
	費用	0015 人件費	22,913,888	27,919,312	-5,005,424
		0016 事業費	6,926,031	8,062,627	-1,136,596
		0017 事務費	6,252,427	6,385,598	-133,171
		0026 利用者負担軽減額	0	25,429	-25,429
		0027 減価償却費	1,825,347	1,945,806	-120,459
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,162,828	-1,162,828	0
		サービス活動費用計(2)	36,754,865	43,175,944	-6,421,079
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-5,793,818	120,379	-5,914,197
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	497,776	484,870	12,906
		0098 その他のサービス活動外収益	65,891	421,646	-355,755
		サービス活動外収益計(4)	563,667	906,516	-342,849
	費用	0275 積立資産評価損	6,356,000	4,767,000	1,589,000
		0038 その他のサービス活動外費用	172,600	0	172,600
		サービス活動外費用計(5)	6,528,600	4,767,000	1,761,600
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-5,964,933	-3,860,484	-2,104,449
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-11,758,751	-3,740,105	-8,018,646
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	172,600	0	172,600
		特別収益計(8)	172,600	0	172,600
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	2	1	1
		特別費用計(9)	2	1	1
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	172,598	-1	172,599
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-11,586,153	-3,740,106	-7,846,047
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	36,399,138	35,372,244	1,026,894
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	24,812,985	31,632,138	-6,819,153
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	6,356,000	4,767,000	1,589,000
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	31,168,985	36,399,138	-5,230,153

令和6年度 事業報告（概要版）

特別養護老人ホームおおすか苑（ユニット型）

1. 特養入居者状況

令和6年度延べ10,506名、昨年度10,779名と比べると273人減、稼働率95.9%、昨年度は98.2%であった。平均入所者数28.8人、平均介護度3.3、新規入所者15名（在宅2名、老健4名、医療機関4名、グループホーム2名、有料老人ホーム2名、当苑従来型から1名）退所者15名（他施設1名、当苑従来型へ2名、消化器感染1名、医療機関3名、老衰8名）であった。

2. 事業所目標「その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する」

状況報告については、家族に最低月1回は連絡を取り情報の共有を行い、思いなどを聞くことが出来た。生活全般についての気づきも、ヒヤリ・ハット報告として以前よりも多く挙げてきている。慰問の受入れや地域との交流をすることが出来た。下半期は、環境面における整備に心掛け、フロア、居室の環境を整えた。

3. 活動・行事

今年度は、家族を交えての外出、選挙、遠足などの外出等全体としては行事14企画を予定したが、感染症の関係で1企画実施出来なかった。敬老会は従来型と合同でこども園の園児を招いて催すことが出来た。芸能ボランティアも呼ぶことが出来、見て楽しむことが出来た。面会は、時間制限は設けているが、居室に入っていただけになった。

4. 利用者の健康管理

- ・今年度から、認知症、精神疾患への対応強化のために小笠病院との連携体制をとり始めた。ただ、精神科への入院が長期になってしまった方がいた。
- ・体調不良で入院となり、退院される時には看取り状態というケースもあった。
- ・今年度、ユニットにおいてコロナ感染症の発生があったが感染者2人、1ユニットで抑えることが出来た。

5. 防災活動

夜間想定を中心に実施、シミュレーションにて動きや機器の確認も実施した。

11月には地域の方にも防災訓練に参加していただき、地区の防災倉庫の備品チェックも一緒に行った。

6. 職員研修計画

動画視聴、外部講師を招いての研修も含め内部研修17回、延べ職員209名参加、外部研修33回の研修に、延べ43名参加した。

7. 会議・委員会

施設福祉課会議・給食会議は計画通り開催出来た。

委員会については、開催にばらつきがあった。研修会は委員会で企画出来た。

8. 優先入所検討会

2か月に1回開催したが、入退所の動きが大きい月もあり、途中で臨時の優先入所検討会をする状況もあった。

9. 地域との交流

周辺地域シニアクラブ3地区による草刈り、地域の方のボランティア慰問があり、交流をすることが出来た。

事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	155,383,802	154,777,142	606,660
		サービス活動収益計(1)	155,383,802	154,777,142	606,660
	費用	0015 人件費	108,070,469	96,580,484	11,489,985
		0016 事業費	19,761,635	20,310,534	-548,899
		0017 事務費	20,628,991	18,716,600	1,912,391
		0026 利用者負担軽減額	738,306	1,082,435	-344,129
		0027 減価償却費	12,095,853	12,600,930	-505,077
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-8,490,985	-8,842,791	351,806
		サービス活動費用計(2)	152,804,269	140,448,192	12,356,077
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,579,533	14,328,950	-11,749,417
サービス活動外増減の部	収益	0092 借入金利息補助金収益	0	214,950	-214,950
		0093 受取利息配当金収益	21,144	10,586	10,558
		0098 その他のサービス活動外収益	142,548	620,511	-477,963
		サービス活動外収益計(4)	163,692	846,047	-682,355
	費用	0033 支払利息	198,764	349,963	-151,199
		0038 その他のサービス活動外費用	30,400	29,000	1,400
		サービス活動外費用計(5)	229,164	378,963	-149,799
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-65,472	467,084	-532,556
経常増減差額(7)=(3)+(6)			2,514,061	14,796,034	-12,281,973
特別増減の部	収益	0100 施設整備等補助金収益	0	14,330,000	-14,330,000
		0111 その他の特別収益	30,400	29,000	1,400
		特別収益計(8)	30,400	14,359,000	-14,328,600
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	23,418	0	23,418
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	0	13,508,049	-13,508,049
		0047 拠点区分間繰入金費用	0	5,000,000	-5,000,000
		特別費用計(9)	23,418	18,508,049	-18,484,631
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	6,982	-4,149,049	4,156,031
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			2,521,043	10,646,985	-8,125,942
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	121,588,356	120,941,371	646,985
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	124,109,399	131,588,356	-7,478,957
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	10,000,000	-10,000,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	124,109,399	121,588,356	2,521,043

令和6年度 事業報告（概要版）

デイサービスセンターほほえみ

1. 方針

「一人一人の個性や機能を生かし、その人らしい生活ができるよう支援する」

- ・利用者と家族のニーズや意向に沿い、個性や機能を生かした通所介護サービスを提供する。日々の様子や状態変化などへの気付きを大切に、より良い在宅生活が続けられるよう支援する。
- ・大須賀地域で唯一の社会福祉法人が運営する事業所として、地域の方に安心して利用いただけるよう、関係法令を遵守し誠実に事業を行う。情報発信や地区行事へ参加をすることで事業所を知っていただき、利用につなげる。

2. 重点目標①『1日平均利用者数16名以上、土曜日10名以上』への取り組み

3月末時点、令和6年度の1日平均利用者数は13.3名、稼働率は46.9%と目標に達しなかった。新規のサービス利用開始者もいたが利用回数の多い利用者の施設入所などが続き、利用者数の増加に繋がらなかった。新規の利用者獲得やすでに利用中の方の利用回数増加などをねらい、毎月の「ほほえみ通信」を各居宅介護支援事業所や利用者家族へ配布した。またとうもんの里へも掲示させていただきPRしてきた。見学やお試し利用から新規の契約に繋がることが多いので積極的にお試し利用を受けていく。また、利用者、家族への満足度を上げることで、地域や知人への口コミによる利用者増加を狙った。

重点目標②『この地域で暮らす高齢者に必要とされる在宅サービス提供のため、在宅福祉課で協働し、デイサービスの再構築を図る』への取り組み

昨年に引き続き、在宅福祉課内で2単位ある通所介護事業の在り方を検討した。上半期の実績の結果、このまま事業を継続していくことは難しいと判断し、通所介護事業を1単位にして安定した稼働率による収益の巻き返しを図ることとした。在宅福祉課で協働して、山崎デイサービスセンターからの利用者を受け入れていく準備をした。

重点目標③『地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる』の達成状況

利用者や家族、ケアマネジャーからの要望や利用の変更等に出来る限り対応をしてきた。満足度調査では利用者家族からもお礼の言葉を何件かいただいた。職員数が少なくなっても、サービス内容を変更することなく、安全に気をつけながら継続することができた。

3. サービス提供について

食事サービス、入浴サービス、健康管理、送迎サービス、介護相談、活動（レクリエーション等）、運動・体操・機能訓練については、計画通り実施できた。

4. 職員研修、会議等

- ・内部研修や事業所内の会議・防災訓練は、ほぼ計画通り実施できた。
- ・各委員会：高齢者福祉事業部で毎月第3水曜日に開催。内容を事業所内職員に伝達した。
- ・センター会議：3回開催 ・デイ実地形態検討会議：3回開催
- ・内部研修：5回開催 ・外部研修：0回

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
 事業所名 * * 令和6年度 * *
 サービス区分 [0004:デイサービスセンター ほほえみ]

事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	41,476,571	41,552,116	-75,545
		サービス活動収益計(1)	41,476,571	41,552,116	-75,545
	費用	0015 人件費	29,914,055	27,332,119	2,581,936
		0016 事業費	6,384,680	6,373,799	10,881
		0017 事務費	6,994,352	6,142,451	851,901
		0027 減価償却費	8,204,649	8,486,172	-281,523
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,421,151	-5,421,151	0
		サービス活動費用計(2)	46,076,585	42,913,390	3,163,195
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-4,600,014	-1,361,274	-3,238,740
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	40,656	28,077	12,579
		0098 その他のサービス活動外収益	6,145	22,835	-16,690
		サービス活動外収益計(4)	46,801	50,912	-4,111
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	0	29,000	-29,000
		サービス活動外費用計(5)	0	29,000	-29,000
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	46,801	21,912	24,889
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-4,553,213	-1,339,362	-3,213,851
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	0	29,000	-29,000
		特別収益計(8)	0	29,000	-29,000
	費用	0047 拠点区分間繰入金費用	0	4,000,000	-4,000,000
		特別費用計(9)	0	4,000,000	-4,000,000
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	-3,971,000	3,971,000
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-4,553,213	-5,310,362	757,149
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	36,540,594	41,850,956	-5,310,362
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	31,987,381	36,540,594	4,553,213
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	31,987,381	36,540,594	-4,553,213

令和6年度 事業報告（概要版）
おおすか苑居宅介護支援事業所

1. 目標達成のための具体的な取り組みへの実施状況

- ・事業所内での事例検討会等で支援について毎週意見交換を行っている。月1回事業所での内部研修を開催している。月1回包括支援センター職員が居宅介護支援会議へ参加しており、情報を共有し客観的意見や知識を得ている。外部研修にも参加した。
- ・業務時間内に仕事を終わることを心掛けており、徹底している。記録や書類作成が勤務時間内に終わらない場合は、必要に応じて時間外労働で対応した。
- ・体調の悪い利用者については、医療機関や訪問看護ステーションと連絡を取り合い連携を図った。状態変化に早期に気づき適切な対応をすることに努めている。
- ・デイサービスセンター実施形態検討会議に主任、係長が出席した。
- ・法令を遵守し、運営基準や要件を満たしたサービス提供を行うため、管理者は事業所内の業務進捗状況、基準を満たしたサービス提供の実施等を随時確認している。
- ・事業所内だけでは対応が困難と判断したケースについて、包括支援センターに報告や相談をした。虐待が疑われるケースについては包括支援センターと情報共有し、状況の確認や対応方法の検討を合同で行った。
- ・地域との関係作りのため、地区で開催された見守り会議に出席した。
- ・介護支援専門員の減による、仕事量の増加について負担等を随時確認した。

2. 居宅介護支援の利用状況

ケアプラン作成件数は延べ1785件。昨年度と比較して48件の減であった。

予防介護支援の利用状況

ケアプラン作成件数は延べ246件。昨年度と比較して47件の増であった。

居宅介護支援異動状況

新規作成件数は26件でそのうち54%が地域包括支援センターからの紹介であった。

終了件数は43件で理由として多いのが入所、入院で全体の65%を占めていた。

介護認定調査

今年度は人事異動に伴うケースの引継ぎ等の対応を優先しており、受入れを中断している。職員4名中、3名が認定調査員の資格を所持している。

3. 研修、会議

研修や会議は計画通り実施できている。今年度から居宅介護支援事業所の職員が、掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会の担当となり活動に参加した。

事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	30,560,259	30,633,091	-72,832
		サービス活動収益計(1)	30,560,259	30,633,091	-72,832
	費用	0015 人件費	22,624,198	24,412,147	-1,787,949
		0016 事業費	201,532	229,168	-27,636
		0017 事務費	3,339,922	3,416,855	-76,933
		0027 減価償却費	687,312	1,162,191	-474,879
		サービス活動費用計(2)	26,852,964	29,220,361	-2,367,397
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,707,295	1,412,730	2,294,565
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	11,630	11,010	620
		サービス活動外収益計(4)	11,630	11,010	620
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	41,400	0	41,400
		サービス活動外費用計(5)	41,400	0	41,400
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-29,770	11,010	-40,780
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,677,525	1,423,740	2,253,785
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	41,400	0	41,400
		特別収益計(8)	41,400	0	41,400
	費用				
		特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	41,400	0	41,400
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,718,925	1,423,740	2,295,185
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	7,563,486	6,139,746	1,423,740
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	11,282,411	7,563,486	3,718,925
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	11,282,411	7,563,486	3,718,925

令和 6 年度

掛川市南部大須賀地域包括支援センター事業報告（概要版）

1	担当圏域	掛 川 市 115,028 人（前回は－561 人） 高齢化率 28.70 % （大須賀地区）人 口 10,155 人（前回は －166 人） 高齢者人口 3,580 人（前回は －31 人） 高 齢 化 率 35.25%（前回は ＋0.26%） ※R6.4 月現在（前回 R5.4 月）
2	職員体制	主任介護支援専門員 1 名・看護師 1 名・社会福祉士 1 名
3	取り組んだ事業内容	【1】総合相談支援業務 ① 実態把握 86 件 ② 総合相談受付、対応数 ⇒1,425 件（昨年比 －478 件） （来所 463 件、電話 679 件、訪問 283 件） 【2】権利擁護業務 深刻な高齢者虐待ケースはなかったが、経済的困窮や、高齢ひとり暮らしで身寄りのない方など、権利擁護に関わる事例が増えた。病院退院時の支援や転院の手続き、生活保護受給、成年後見制度利用などについて関係各所と連携して対応した。 【3】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 主任介護支援専門員を主に、市や病院、事業所などの他機関と連携して包括的支援の体制づくりに取り組んだ。 【4】介護予防支援事業 請求件数 309 件（直営 52 件、委託 257 件） 介護予防ケアマネジメント業務 請求件数 243 件（直営 172 件、委託 71 件） 【5】地域におけるネットワーク活動の展開 地区福祉懇談会、見守りネットワーク会議などに出席し、地域との連携、協力体制の構築を進めた。 【6】認知症に関する取り組み 認知症サポーター養成講座は開催できなかったが、横須賀高校 2 年生対象に認知症講座を開催し、認知症の理解、啓発に努めた。また、認知症カフェなどへの協力をする事で認知症高齢者や家族の支援に努めた。 【7】生活支援体制整備事業に関する取り組み 昨年度から開催している「おおすか健康広場いつもんところ」は、社会福祉協議会と協同運営を継続した。サポーター（ボランティア）等の社会資源の開発、育成に努めた。 【8】在宅医療・介護連携推進事業に関する業務 医療と介護の包括的支援の提供のため、常時、関係機関と連携を図った。特に、医療機関との協力体制は必須になっており、頻繁に情報共有や相談の機会をもった。

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
 事業所名 * * 令和6年度 * *
 サービス区分 [0009:掛川市南部大須賀地域包括支援センター]

事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	22,064,737	22,000,209	64,528
		サービス活動収益計(1)	22,064,737	22,000,209	64,528
	費用	0015 人件費	20,500,148	18,752,629	1,747,519
		0016 事業費	63,547	81,089	-17,542
		0017 事務費	3,219,910	3,306,700	-86,790
		サービス活動費用計(2)	23,783,605	22,140,418	1,643,187
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-1,718,868	-140,209	-1,578,659
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	9,300	8,800	500
		サービス活動外収益計(4)	9,300	8,800	500
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	13,800	41,400	-27,600
		サービス活動外費用計(5)	13,800	41,400	-27,600
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-4,500	-32,600	28,100
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-1,723,368	-172,809	-1,550,559
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	41,400	41,400	0
		特別収益計(8)	41,400	41,400	0
	費用				
		特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	41,400	41,400	0
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-1,681,968	-131,409	-1,550,559
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	-9,932,896	-9,801,487	-131,409
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	-11,614,864	-9,932,896	-1,681,968
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	-11,614,864	-9,932,896	-1,681,968

令和6年度 事業報告（概要版）

山崎デイサービスセンター

1. 方針

「一人一人の個性や機能を生かし、その人らしい生活ができるよう支援する」

- ・利用者と家族のニーズや意向に沿い、個性や機能を生かした通所介護サービスを提供する。日々の様子や状態変化などへの気付きを大切にし、より良い在宅生活が続けられるよう支援する。
- ・大須賀地域で唯一の社会福祉法人が運営する事業所として、地域の方に安心して利用いただけるよう、関係法令を遵守し誠実に事業を行う。情報発信や地区行事へ参加をすることで事業所を知っていただき、利用につなげる。

2. 重点目標①『1日平均利用者数13名以上』への取り組み

3月末時点で一日平均利用者数は、13.3名と目標には達した。下半期は、新規利用者以上に入院や入所などの理由による終了者が多く登録人数が減少したが、上半期に利用者が増加していたことが目標達成の要因であった。

重点目標②『この地域で暮らす高齢者に必要とされる在宅介護サービス提供のため、在宅福祉課で協働し、デイサービスの再構築を図る』への取り組み

昨年に引き続き、在宅福祉課内で2単位ある通所介護事業の在り方を検討した。上半期の実績の結果、このまま、事業所を継続していくことは難しいと判断し、通所介護事業を1単位にし、安定した稼働率による収益の巻き返しを図ることとした。令和7年3月31日をもって山崎デイサービスセンターの通所介護事業を休止とした。おおすか苑デイサービスセンター（ほほえみ）へ統合することについて利用者、家族、地域の方などへの十分な説明に努めた。

重点目標③『地域に根差した社会福祉事業者として、地域住民や地区組織とのつながりを深める』への取り組み

地元にある「とうもんの里」へ毎月訪問し意見交換を行ったり、大須賀第二地区まちづくり協議会主催のイベントへ参加することで地域との関係性を深めた。

3. サービス提供について

食事サービス、入浴サービス、健康管理、送迎サービス、介護相談、活動（レクリエーション等）、運動・体操・機能訓練については、計画通り実施できた。

4. 職員研修、会議等

内部研修や事業所内の会議、防災訓練は、ほぼ計画通り実施できた。

- ・各委員会：高齢者福祉事業部で毎月第3水曜日に開催。内容を事業所内職員に伝達した。
- ・センター会議：4回開催
- ・ケース検討会：11回開催
- ・デイ実施形態検討会議：3回開催
- ・内部研修：4回開催
- ・外部研修：2回受講
- ・防災訓練：4回開催

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
事業所名 * * 令和6年度 * *
事業・拠点 [0021:山崎デイサービスセンター]

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

山崎デイサービスセンター拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	32,458,399	30,170,403	2,287,996
		サービス活動収益計(1)	32,458,399	30,170,403	2,287,996
	費用	0015 人件費	21,285,970	24,115,861	-2,829,891
		0016 事業費	5,523,525	5,285,312	238,213
		0017 事務費	4,584,629	3,479,912	1,104,717
		0027 減価償却費	6,284,936	6,263,994	20,942
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-116,600	-116,600	0
		サービス活動費用計(2)	37,562,460	39,028,479	-1,466,019
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-5,104,061	-8,858,076	3,754,015
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	46,280	32,430	13,850
		サービス活動外収益計(4)	46,280	32,430	13,850
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	46,280	32,430	13,850
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-5,057,781	-8,825,646	3,767,865
特別増減の部	収益	0106 拠点区分間繰入金収益	0	4,000,000	-4,000,000
		0111 その他の特別収益	36,604	0	36,604
		特別収益計(8)	36,604	4,000,000	-3,963,396
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	1	0	1
		特別費用計(9)	1	0	1
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	36,603	4,000,000	-3,963,397
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-5,021,178	-4,825,646	-195,532
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	72,288,117	77,113,763	-4,825,646
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	67,266,939	72,288,117	-5,021,178
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	67,266,939	72,288,117	-5,021,178

令和 6 年度 事業報告（概要版）
小規模多機能型居宅よりみち

1. 利用状況 定員：登録定員 25 名（通い；15 名／日 泊り；6 名／日）
 - ・新規サービス利用開始者 10 名、サービス終了利用者数が 10 名だった。他に、入院などで一旦登録終了したが、その後在宅に戻られて再度登録した方も数名いた。利用中に急変し永眠された方が 1 名いた。
2. 事業所の目標
 - 事業目標①「月平均登録人数 15 名（登録率 60%）を目指す」に対する取り組み
 - ・令和 6 年度の月平均登録者数は 15.4 名、昨年度上半期と比較して 2.8 名増。定員に対する登録率は 61%で目標達成できた。
 - 処遇目標②「利用者一人一人に対して統一した方向性のもと適切なケアを提供する」に対する取り組み
 - ・ケアの情報は記録に残し、それぞれが確認して評価に活用したりケアの統一に繋がった。
 - ・下半期、利用者が増えてきてミーティング時間を取れなくなり、詳細な情報共有ができなくなった。少しの時間を見つけてでも機会を作り、情報共有をしていきたい。
3. サービス評価に基づく項目別計画
 - ・記録に残し情報共有し、より良いケアに繋がっている。
 - ・丁寧な言葉遣いを心がけて、安心できる居場所になるようにした。
 - ・「～したい」の実現は、担当利用者以外のプランを把握しきれてないこともあるため、来年度は共有する時間を確保していきたい。
 - ・対応が困難なケースは、地域包括支援センターに相談し、情報共有して取り組んだ。
 - ・今ある資源を活用した。今後も資源の見直しや新たに活用できる資源はないか考え、地域とのかかわりに繋がっていきたい。
4. サービス内容
 - ・利用者本人の状態に合わせた活動を共同で行った。
 - ・担当者が月 1 回個別介護計画のモニタリングを行って PDCA サイクルを回した。
 - ・地域行事のお祭りやイベントに参加し非日常を楽しんでもらった。フェスタおおぶちでは、作品展示も行った。
 - ・定期的なサービス提供以外に利用者の状態や要望によって柔軟に対応して支援した。
 - ・介護相談では、随時家族等から相談ができる体制を確保している。地域からの相談事は、なかった。
5. 運営推進会議
 - ・新型コロナウイルス感染対策で、9 月は書面開催とした。それ以外は、予定通り開催した。
6. 職員研修、会議等
 - ・会議：計画通り開催できた。
 - ・内部研修：毎月、担当となった職員が内容を決め、開催できた。
 - ・外部研修：認知症実践者研修、介護支援専門員更新研修に参加しスキルアップを図った。
 - ・防災訓練計画：予定通りではないが、計画した回数が実施できた。
7. サービス評価（外部評価）
 - ・11 月の運営推進会議で実施し、3 月に掛川市に提出した。

事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	36,728,809	32,013,805	4,715,004
		サービス活動収益計(1)	36,728,809	32,013,805	4,715,004
	費用	0015 人件費	33,913,662	32,107,590	1,806,072
		0016 事業費	4,165,587	3,781,237	384,350
		0017 事務費	3,348,719	3,034,464	314,255
		0026 利用者負担軽減額	0	53,062	-53,062
		0027 減価償却費	7,368,645	7,379,783	-11,138
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,773,943	-1,781,812	7,869
		サービス活動費用計(2)	47,022,670	44,574,324	2,448,346
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-10,293,861	-12,560,519	2,266,658
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	21,430	30,532	-9,102
		サービス活動外収益計(4)	21,430	30,532	-9,102
	費用	0033 支払利息	373,800	228,514	145,286
		0038 その他のサービス活動外費用	27,600	59,000	-31,400
		サービス活動外費用計(5)	401,400	287,514	113,886
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-379,970	-256,982	-122,988
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-10,673,831	-12,817,501	2,143,670
特別増減の部	収益	0106 拠点区分間繰入金収益	10,000,000	9,000,000	1,000,000
		0111 その他の特別収益	27,600	59,000	-31,400
		特別収益計(8)	10,027,600	9,059,000	968,600
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	10,027,600	9,059,000	968,600
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-646,231	-3,758,501	3,112,270
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	23,445,504	27,204,005	-3,758,501
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	22,799,273	23,445,504	-646,231
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	22,799,273	23,445,504	-646,231

令和6年度 事業報告（概要版）
グループホーム野楽里

1. 利用状況 定員：18名（9名×2ユニット）

新規入居者5名 退居者3名。入院した方は4名であった。（内、骨折による手術3名）

2. 事業所の目標

事業目標「定員に対する稼働率98%を目指す」に対する取り組み

- ・稼働率97.2%、目標を達成できなかった。要因としては、すぐに入居したい方がいなく空床が長かった為、骨折での入院者が3名、誤嚥性肺炎での入院者が1名いた為、入居予定の方が感染症発症し入居が遅れた為である。入院者は、誤嚥性肺炎により1名、転倒事故による入院者は下半期で3名であった。特に下半期の入院者が出たことで稼働率に影響を受けた。

処遇目標「業務の効率化をあげ、入居者に対しての直接的ケアの充実を図ることで生活の質を向上させる」に対する取り組み

- ・業務の流れやケアについて、効率よく進める方法を職員間で共有し展開できてきた。
- ・8月～9月にかけてコロナ感染症発症者、1月にインフルエンザ発症者が出たが、蔓延にはいたらなかった。

3. ケアの具体的取り組み内容

①生活支援について

- ・会議でケアの見直しをしながら、現状に合うケアに取り組んだ。
- ・上半期は誤嚥事故が多かったため、原因を探り職員への指導など再発防止に努めた。下半期は病院受診して保険者に報告する事故が多かった。転倒し骨折が4名（内3名は入院し手術）、手の不全骨折、皮むけや頭部打撲し受診など。ADLが低下してきて起こる事故が多いため、心身の現状に合うケアへの見直しに取り組んでいる。

②アクティビティ活動について

- ・室内での活動では、脳トレや体操、口腔体操等を継続して実施できた。地域資源、社会資源を活用し、ドライブや遠足等にも取り組んだ。
- ・誕生日には、本人選択の食事を提供できた。また「特別な日を皆でお祝いする」雰囲気作りについて検討した。

③より良いサービス提供について

- ・定期的なケアプランの見直しができ、ケアマネ、現場職員とで情報を共有し、PDCAサイクルを回すことが出来た。東西のユニット職員の情報共有に連絡ノートを活用した。

4. 会議・研修

- ・会議：業務の見直しや現状に見合ったケアについて会議で検討した。
- ・内部研修：日程調整の段取りが上手くいかず、計画通りに開催できなかった。
「接遇」「認知症」「感染症対策研修（机上訓練）」「ガウンテクニック研修」は実施。
身体拘束廃止、虐待防止検討委員会は規定通り実施した。
- ・外部研修：「避難計画の策定に係る説明会」「認知症実践者研修」等に参加した。
- ・掛川市から介護相談員2名の訪問を受け入れ、2名の入居者と話をした。

5. 運営推進会議

- ・新型コロナ感染対策で9月は書面開催とした。それ以外は予定通り開催した。

6. 自己評価・外部評価（今年度は緩和措置申請が認められ外部評価なし）

- ・自己評価を実施し、次年度の事業目標に反映させた。

7. 防災訓練計画

- ・計画月に実施できない時もあったが、日程調整し計画した回数を実施した。

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
 事業所名 * * 令和6年度 * *
 サービス区分 [0021:グループホーム野楽里]

事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	86,190,495	83,558,195	2,632,300
		サービス活動収益計(1)	86,190,495	83,558,195	2,632,300
	費用	0015 人件費	58,735,086	59,131,272	-396,186
		0016 事業費	12,176,183	12,015,305	160,878
		0017 事務費	5,159,893	5,443,964	-284,071
		0027 減価償却費	15,341,635	15,478,290	-136,655
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-2,367,813	-2,426,319	58,506
		サービス活動費用計(2)	89,044,984	89,642,512	-597,528
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-2,854,489	-6,084,317	3,229,828
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	155,735	35,918	119,817
		サービス活動外収益計(4)	155,735	35,918	119,817
	費用	0033 支払利息	758,926	463,952	294,974
		0038 その他のサービス活動外費用	41,400	28,700	12,700
		サービス活動外費用計(5)	800,326	492,652	307,674
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-644,591	-456,734	-187,857
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	-3,499,080	-6,541,051	3,041,971
特別増減の部	収益	0106 拠点区分間繰入金収益	10,000,000	3,000,000	7,000,000
		0111 その他の特別収益	41,400	27,600	13,800
		特別収益計(8)	10,041,400	3,027,600	7,013,800
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	10,041,400	3,027,600	7,013,800
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,542,320	-3,513,451	10,055,771
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	101,541,026	105,054,477	-3,513,451
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	108,083,346	101,541,026	6,542,320
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	108,083,346	101,541,026	6,542,320

よこすか ぬく森こども園

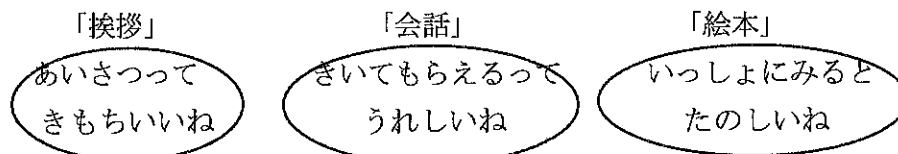
1、保育構想

教育・保育方針

◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。

◎豊かな環境の中で、様々な体験を通し学びを支える。

重点目標 『好きな人と いっぱいお話ししよう！』



2、業務内容

1)今年度の目標

- ・開園して3年が経ち、子どもの実態をふまえながら重点目標の見直しを行った。新たな重点目標を達成するための取り組みに加え、「子育て支援の場」「地域との連携・地域への発信」「生き生きと働ける職場」についても取り組んだ。

2)取り組み・評価・課題

- ・重点目標については主幹・主任を中心に職員が3グループに分かれ、年間計画を立て主体的に取り組むことができ、様々な場面で子ども達の育ちも感じることが出来た。
- ・子育て支援については具体策に加え必要に応じて保護者とじっくり話をする場を設けたり、市に通訳を依頼し丁寧な面談を行うことができたが、茶話会やほっと相談会はなかなか実施することが出来なかった。職員の社会福祉法人としての意識を高める取り組みについては、研究発表に参加したり職員会議で他園の事例を紹介することにとどまってしまった。
- ・地域については、地区の懇談会や中・高校の行事等、できるだけ地域に出ていくようにしたが、子育てについての発信は実施できなかった。
- ・職場づくりでは、職員の動線表に休憩時間を組み込み、心と体を休める時間を作るようにした。また今年度ICTの巡回支援事業を受け0.1.2歳児の連絡帳や指導案等活用を進めることが出来た。

3)クラス編成

（令和7年3月31日現在）

歳児	クラス名	男児	女児	計	保育教諭数
0歳児	ひよこ	4	2	6	保育教諭2名
1歳児	うさぎ	9	5	14	保育教諭3名
2歳児	りす	17	7	24	保育教諭4名
3歳児	ばんだ	10	8	18	保育教諭1名
	こあら	10	8	18	保育教諭1名
4歳児	きりん	10	13	23	保育教諭1名
	くま	10	12	22	保育教諭1名
5歳児	らいおん	9	9	18	保育教諭1名
	ぞう	8	10	18	保育教諭1名
合 計		87	74	161	

4)交流 小・中・高校生、畑の先生、紙ヒコーキの先生との交流を行った。

5)火災・地震・津波・水害・不審者対応訓練

- ・子どもたち・職員の命を守るため月1回の訓練を実施

6)内部研修

・「好きな人といっぱいお話ししよう！」～言葉のやりとりに重点をおいた教育・保育の展開を目指して～をテーマに職員が「挨拶」「会話」「絵本」の3グループに分かれ取り組んだ。

社会福祉法人名 社会福祉法人 大須賀苑
事業所名 * * 令和6年度 * *
事業・拠点 [0031:よこすか んく森こども園]

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

よこすか んく森こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	184,020,968	176,853,593	7,167,375
		0089 経常経費寄附金収益	100,000	0	100,000
		サービス活動収益計(1)	184,120,968	176,853,593	7,267,375
	費用	0015 人件費	127,430,477	114,346,639	13,083,838
		0016 事業費	19,273,562	18,748,989	524,573
		0017 事務費	29,594,819	32,430,603	-2,835,784
		0027 減価償却費	50,818,850	51,035,696	-216,846
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-49,197,342	-49,515,197	317,855
		サービス活動費用計(2)	177,920,366	167,046,730	10,873,636
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,200,602	9,806,863	-3,606,261
サービス活動外増減の部	収益	0093 受取利息配当金収益	32,293	56,154	-23,861
		0098 その他のサービス活動外収益	1,757,075	1,761,095	-4,020
		サービス活動外収益計(4)	1,789,368	1,817,249	-27,881
	費用	0275 積立資産評価損	228,000	0	228,000
		0038 その他のサービス活動外費用	1,931,100	1,623,900	307,200
		サービス活動外費用計(5)	2,159,100	1,623,900	535,200
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-369,732	193,349	-563,081
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,830,870	10,000,212	-4,169,342
特別増減の部	収益	0111 その他の特別収益	552,200	41,400	510,800
		特別収益計(8)	552,200	41,400	510,800
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	3	0	3
		0047 拠点区分間繰入金費用	20,000,000	0	20,000,000
		特別費用計(9)	20,000,003	0	20,000,003
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	-19,447,803	41,400	-19,489,203
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-13,616,933	10,041,612	-23,658,545
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	83,757,604	73,715,992	10,041,612
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	70,140,671	83,757,604	-13,616,933
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	228,000	0	228,000
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	70,368,671	83,757,604	-13,388,933

おおぶち そよ風こども園

1、園の運営について

教育・保育目標 「げんきなからだ かんがえるちから やさしいところ」

教育・保育方針 ◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。

◎豊かな環境の中で、様々な体験を通して学びを支える。

重点目標 「よくたべ よくねて よくあそぶ」

2、業務内容報告

1) 今年度の目標

- ・開園して3年目を迎える中で、全体的に幼稚園・保育園の壁がなくなり、同じこども園の園児として受け入れを行うことができるようになった。本来の子どもの姿を大事にしながら個別の対応を行い、重点目標を達成する為に、子どもの育ちや発達を抑えながら「子育て・保護者支援」「職員間の連携」「危機管理面」に取り組む。

2) 取り組み評価・課題

- ・「子育て・保護者支援」：保護者面談・園情報配信を計画的に行った事で園運営を円滑に行うことができた。
療育機関と連携を図ったことで、支援児の個別対応を進めることができた。
- ・「職員間の連携」：日常的に職員間でコミュニケーションをとり、主幹を中心に連携を図ることができた。
引き続き園全体で連携を図っていききたい。
：外部研修に多く参加することで、職員の質の向上に繋がった。
- ・「危機管理面」：減災教育の講演会に保護者と職員が参加したことで、防災についての意識が高まった。

3) クラス編成

令和7年3月31日 現在

年齢	クラス	男	女	計	職員	年齢	クラス	男	女	計	職員
0歳児	みかん	3	4	7	保育教諭 3人	3歳児	めろん	7	9	16	保育教諭 1人
1歳児	もも	6	6	12	保育教諭 2人	4歳児	ばなな	12	7	19	保育教諭 1人
2歳児	いちご	6	6	12	保育教諭 2人	5歳児	ぶどう	7	7	14	保育教諭 1人
合計								41	39	80	保育教諭 10人

4) 交流会

小・中・高校生との交流会

6月5日 ジャがいも掘り

6月26日 さつまいものつるさし } 3・4・5歳児 ふれあい農園

10月24日 さつまいも掘り

2月17日 ジャがいもの植え付け 2・3・4歳児 ふれあい農園

5) 火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練実施報告

①園児の安全確保

②職員の危機管理意識（責任・自覚を持ち適切な判断のもと迅速な行動をとる）

6) 内部研修

（4月～5月） 本園の理念・方針を共通理解する。目指す子どもの姿と園目標についての話し合い。

（6月～9月） 保健衛生・健康安全・特別支援教育・危機管理についての話し合いと実施訓練。

（10月～3月） 保育の標準的な実施方法について、自己評価・外部評価結果からの課題、改善の検討。
次年度についての話し合い。

3、一時預かり事業

実施状況 職員体制が整わず休止中だが、状況に応じて対応をしていく予定。

4、子育て支援センター事業

事業の中で、同学年や同地域の親子交流の場を設けたことで、継続して施設利用する家庭が増えた。

3月現在利用延数2108人。引き続き利用者一人ひとりに寄り添い丁寧な対応をしていく。

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

おおぶち そよ風こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収 益	0072 保育事業収益	129,730,946	119,278,015	10,452,931
		サービス活動収益計(1)	129,730,946	119,278,015	10,452,931
	費 用	0015 人件費	86,478,805	81,698,887	4,779,918
		0016 事業費	11,411,541	11,545,118	-133,577
		0017 事務費	25,602,179	23,062,636	2,539,543
		0027 減価償却費	17,230,776	17,957,079	-726,303
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-15,262,754	-16,068,612	805,858
		サービス活動費用計(2)	125,460,547	118,195,108	7,265,439
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,270,399	1,082,907	3,187,492
サービス活動外増減の部	収 益	0092 借入金利息補助金収益	620,000	1,243,397	-623,397
		0093 受取利息配当金収益	142,011	132,985	9,026
		0098 その他のサービス活動外収益	1,274,605	1,383,950	-109,345
		サービス活動外収益計(4)	2,036,616	2,760,332	-723,716
	費 用	0033 支払利息	620,000	1,243,397	-623,397
		0038 その他のサービス活動外費用	1,175,700	1,209,700	-34,000
		サービス活動外費用計(5)	1,795,700	2,453,097	-657,397
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	240,916	307,235	-66,319
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,511,315	1,390,142	3,121,173
特別増減の部	収 益	0100 施設整備等補助金収益	31,000,000	31,000,000	0
		0111 その他の特別収益	0	21,400	-21,400
		特別収益計(8)	31,000,000	31,021,400	-21,400
	費 用	0042 固定資産売却損・処分損	1	57,400	-57,399
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	28,890,252	28,890,252	0
		特別費用計(9)	28,890,253	28,947,652	-57,399
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,109,747	2,073,748	35,999
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,621,062	3,463,890	3,157,172
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	29,234,531	25,770,641	3,463,890
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	35,855,593	29,234,531	6,621,062
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	35,855,593	29,234,531	6,621,062

資金収支内訳表

(自)令和6年4月1日(至)令和7年3月31日

(單位：日)

[illegible]